

部門連携イベント「ツインリンクもてぎ」合同見学会



2010年11月25日(木曜日)に、交通・物流部門(15名)と技術と社会部門(5名)の部門連携合同見学会が、「ツインリンクもてぎ」内のオーバルコース等の施設見学と「コレクションホール」の見学会を行いました。3回目との事もあり、宇都宮駅にて集合で、バス移動中にあらかじめ記載して頂いた自己紹介マップ等での懇親を計る試みを行いました。「コレクションホール」では、一般見学者(小学生等)と一緒にASIMOとU3-X(一輪車)のデモンストレーション見学後に、「コレクションホール」自由見学し、前記の会場で、技術と社会部門の黒田部門長の方から機械遺産等の事も含めて、交通・物流部門と技術と社会部門の関わり等についての解説説明がありました。続いて、ホンダコレクションホールのアーカイブズ活動について、神杉氏より講演を頂きました。後から気がついた事ですが、ホンダCVCCエンジンとカブ号F型(ホンダ自転車用補助エンジン)の展示に「機械遺産」の表示等が無かった事で、日本機械学会としての認定した物に対する啓蒙活動の必要性を感じた次第です。技術と社会部門は選定作業のみを担当の為、交通・物流部門も含めた日本機械学会全体で考えていくべき課題ではないかと思われます。資料保管庫の見学の後に、スターリングエンジンを使った工学教育の紹介等を含めた相互理解の意見交換会が行われました。

(株)ホンダアクセス お客様相談室 奥村 喜勝 (技術と社会問題委員会 委員長)